

第3回 まちづくり市民協議会会議録

日時：令和2年11月12日（木）18時30分～

会場：あいぱーく光 いきいきホール

出席者 委員 27人（欠席10人）
事務局 6人

1 会長あいさつ

ブランド総合研究所が公表している「地域ブランド調査 2020」によると光市の魅力度は、全国約1,000市区町村中720位であり、光市の情報発信に足りない部分があったのではないかと感じる。

山口県内の順位では、1位は下関市、2位は萩市、3位は岩国市であり、光市は7番目であった。

まちづくりに関するその他のランキングとして、「住みやすさランキング」があり、安心・利便性・快適性といった観点から、下松市が33位だった。下松市の発展は素晴らしく、10年・20年前と比べて、光市と差が生じている。

光市についても、情報発信などを通じて、光市の住みやすさや、生活のしやすさを多くの人に知ってもらいたい。本日行う第2回目のワークショップで、委員の皆様と光市のまちの良さを共有し、これから目指すまちづくりを一緒に考えたい。

光市には、冠山総合公園といった素晴らしい場所があるが、コバルトラインを例にとると、完成当時のコバルトラインは実に素晴らしい場所であった。しかし、現在のコバルトラインは、木々が生い茂り、景色が見えない。つまり、新しいものをつくるだけでなく、つくった後の維持なども考えなければならない。こうしたことも踏まえて、魅力あるまちづくりについて、一緒に考えたい。

2 議題

(1) ワークショップの進め方について

事務局より資料に基づいて説明

(2) ワークショップ

【テーマ】まちの魅力と課題を整理しよう～これからのまちづくりに向けて～

(2回目)

- ・「ひと」「もの」「まち」の各テーマ2グループ、計6グループに分かれて、ワークショップを実施

3 その他

- 市民意識調査の実施についての連絡
- 事務局から今後の予定等について連絡
 - ・次回開催は来年1月21日（木）18時30分から予定している
 - ・次回は引き続きワークショップ形式で、光市が目指す理想の姿について意見交換する予定

終了 20時10分